

『成城文藝』本年度刊行分総目次 (自第二二五号  
至第二二八号)

執筆者五十音順

【論文】

伊 東 俊 彦

格差社会は健康に悪い

——健康格差の問題から見た「生きづらさ」について——

第二二七号、一〇八～八四頁

青 木 健

この御し難き人間の業(2)

——『ピクウィック・ペーパーズ』誕生とシーマー論争——

第二二五号、一三〇～一〇九頁

児童文学擁護論

——デイケンズ v.s. クルックシヤンク——

第二二七号、一二六～一〇九頁

希 求

——早稲田大学同盟休校を中心に——

第二二八号、八四～六五頁

有 田 英 也

「6月18日の男」をどのように思い描くか

——アンドレ・マルローとモーリス・ブランシヨの見たシャル

ル・ド・ゴール——

第二二五号、一〇八～八六頁

高 木 昌 史

中世ヨーロッパの伝説

——(1) カロリング朝——

第二二六号、一～二八頁

中世ヨーロッパの伝説

——(2) エッタの系譜——

第二一七号、三七～六八頁

中世ヨーロッパの伝説

——(3) 『ゲスタ・ロマノールム』——

第二一八号、一～二六頁

林田 伸一

十八世紀後半におけるフランスの地方行政と地方長官補佐

「心得」

第二二五号、一～一八頁

牧野 圭子

震災後の日本観光に関する感性論的考察

——浅草三社祭の事例——

第二一六号、八二～六六頁

森岡 清美

日本プロテスタント史研究と隅谷三喜男

第二一八号、六四～四〇頁

森田 孟

補遺と増幅

——ヘンリー・ヴォーン、『火花散る燧石』以後の

第二一五号、一九～四七頁

思いは弱まることなく

——ヘンリー・ヴォーン『甦ったタレイア』の世界

第二一六号、二九～五六頁

対話精神の探求

——ヘンリー・ヴォーン、呼応——初期と後期と

第二一七号、一～三六頁

山下 純照

記憶の演劇の概念について「1」

——野田秀樹『ザ・キャラクター』(2010)における社会的記憶——

第二一五号、八五～六〇頁

【エッセイ】

工藤 力 男

詫びる？詫びない？日本人

——日本語雑記・七——

第二二五号、四八～五八頁

接辞の陥穽

——日本語雑記・八——

第二二六号、五七～六四頁

聞きまつがい

——日本語雑記・九——

第二二七号、六九～七九頁

きらやか銀行

——日本語雑記・十——

第二二八号、二七～三七頁